

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課長 高橋 裕司	電話番号	0852-22-5149
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	ため池等整備事業
目的	(1) 対象 ため池等対象施設の下流に居住する住民や公共施設等 (2) 意図 ため池の決壊等による下流地域の洪水被害を防止することにより、安全安心の生活や営農を確保する
事業概要	・ため池の決壊等による下流地域の洪水被害を防止するため、老朽化したため池や治水機能が劣っている水門に対し、施設の改修等を行う。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	計画期間内に整備完了する箇所数の整備率	年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
式・定義	(計画期間内に整備完了した箇所数/計画期間内の事業完了予定箇所数：14箇所)×100	目標値		14.00	29.00	64.00	100.00	%
		実績値	100.00	0.00	21.00	64.00		
		達成率		0.00	72.40	100.00		
式・定義	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	870,592	1,334,217
うち一般財源(千円)	90,469	63,921

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度はため池2箇所、河川水門4箇所の整備が完了し、ため池下流、河川水門周辺の居住者人命、家屋、農地、公共施設の被害の未然防止に寄与した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成27年度には新たに整備が必要なため池2箇所、河川水門1箇所について、国庫補助事業により着手した。
 ・平成27年度から、予算の平準化と工事の品質向上のため、債務工事に取り組むこととした。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・ため池等の施工にあたっては、休耕による営農者への影響を最小限とするため、各箇所とも着手後3年程度で完了させる必要があるが、十分な予算が確保できていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・ため池等整備事業の国費が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・ため池等整備事業を推進していくためには、安定的な国庫補助事業予算の確保が不可欠。
 - ・ため池等の整備にあたって、更なるコスト縮減が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国予算について、当初予算での必要額の確保が図られるよう機会を捉えて国に働きかけていくとともに、債務工事の活用による予算の平準化を図る。
 ・新技術の導入を検討するなど更なるコスト縮減を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）